

2017年6月吉日

報道関係各位

第14回 JCF 学生映画祭実行委員会  
実行委員長 高 秀蘭



ワオ・コーポレーション presents 「第14回 JCF 学生映画祭」  
スカラシップ作品・絶滅危惧種「アマミノクロウサギ」保護啓発ショートムービー  
の制作発表会の奄美大島での開催が決定！！

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当映画祭に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

JCF学生映画祭は、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出して参りました。

「第14回JCF学生映画祭」(URL <http://www.jcf.jp.com/>)は、本学生映画祭として初めて関西で、11月25日(金)、11月26日(土)の両日開催され、スカラシップ受賞者が短編部門準グランプリの立命館大学・長尾淳史監督に決定いたしました。

長尾監督は、自然の大切さ、環境保全の大切さを見つめ直すことをテーマに、奄美大島で絶滅危惧種「アマミノクロウサギ」の保護に取り組む方々、奄美市様、スカラシップパートナー・(株)エルムスユナイテッド動物病院グループ様等のご支援により、絶滅危惧種「アマミノクロウサギ」保護啓発ショートムービーを制作に取り組んで参りましたが、この度、制作発表会が、2017年7月23日(日)に、奄美市名瀬の中心商店街に観光交流センターの奄美市AiAiひろばでの開催が決定いたしました。

今、世界では数多くの野生生物が、開発や人が持ち込んだ外来生物、乱獲、地球温暖化などにより、絶滅の危機に瀕しており、日本においても、絶滅危惧種の保護や環境保全が重要な課題となっています。「第14回JCF学生映画祭」のスカラシップでは、スカラシップ受賞者が絶滅危惧種の1つである「アマミノクロウサギ」保護ムービーを制作し、スカラシップ作品を通じて、自然の大切さ、環境保全の大切さを啓発することを目指しております。

<第14回 JCF 学生映画祭スカラシップ「アマミノクロウサギ」保護啓発ショートムービー制作発表会概要>

名 称：第14回 JCF 学生映画祭スカラシップ「アマミノクロウサギ」保護啓発ショートムービー制作発表会

開催日時：2017年7月23日(日)14時～15時

開催場所：奄美市 AiAi ひろば(観光交流センター)

住 所：奄美市名瀬末広町14番10号

開催内容：第14回 JCF 学生映画祭スカラシップ「アマミノクロウサギ」保護啓発ショートムービー上映と制作にあたっての思い(長尾監督より)

<JCFスカラシップについて>

JCF学生映画祭では、次代を担う学生映画監督に、作品の発表と研鑽の場を提供し、スカラシップ制度での新作制作支援等により、若き才能の育成を行ってまいりました。JCFスカラシップは、優秀な学生の自主映画監督を資金・技術・設備の面でバックアップし、に新作を製作する機会を与える制度です。

■「第14回 JCF 学生映画祭」スカラシップ

(株)エルムスユナイテッド動物病院グループの支援により、スカラシップ受賞者が絶滅危惧種の1つである「アマミノクロウサギ」保護ムービーを制作します。

#### <絶滅危惧種・アマミノクロウサギについて>



アマミノクロウサギは、奄美大島、徳之島)に生息する絶滅危惧種です。密集した森林に棲息しており斜面に巣穴を作って生活していますが、森林伐採や道路建設によって棲息地が狭まっており、個体数は減り続けています。それに加え、ネコ、イヌ、マングースに捕食されている事も脅威となっており、日本では1921年より天然記念物となっています。

#### <スカラシップ受賞者>



長尾 淳史

立命館大学映像学部4年生。第14回JCF学生映画祭短編部門へ「マインドギア」を出品。準グランプリを授賞し2011年の「JCFスカラシップ作品」として、アマミノクロウサギ保護を促進するムービーを制作。

#### <スカラシップパートナー・(株)エルムスユナイテッド動物病院グループ概要>



**エルムス ユナイテッド 動物病院グループ**  
**ELMS United Animal Hospital Group**

社名：株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ

住所：東京都杉並区上高井戸1-14-4

設立：平成28年1月27日

資本金：55,000,000円(資本準備金：2億8935万5200円)

代表取締役：池田美智雄

取締役：宮本 寛治 (アニマル iPS セルバンク Lab. 所長(医学博士))、荒島 英 (獣医師)

社外取締役：真泉 順一、池嶋 徳佳

監査役：齋藤 久晃(公認会計士・税理士)

#### <JCFスカラシップ制度・過去の実績>

学生映画の魅力は、「映画監督になりたい」という夢を持つ若者が、粗削りであっても、自らの夢やありったけの情熱、想いをこめて「映画作品」を紡ぎだすことにあります。制作費用やテクニックの面でプロには及びませんが、作品に込められた思いのたけや輝く才能の原石と接することで、観るものに感動と将来への期待感、ワクワク感を与えます。JCF学生映画祭は、「若者の夢を引き受ける仕組みをつくる」という観点から、若者の才能や努力を引き出し、育成するステージの創造を目指しており、現在までに多くの才能を輩出しています。



仲井 陽

第3回 JCF 学生映画祭へ「鶴譚（ぬえたん）」を出品。  
グランプリを授賞し2002年の「JCF スカラシップ作品」として、オキナワコンテンツラボにて沖縄県協力のもと沖縄出身俳優、スタッフ等プロを起用した短編映画「364days」を制作。  
その後、オキナワ・ショート・ショート・フィルムフェスティバルの開会式にて上映された。  
またこの実績により学生の課外活動において優れた成果を挙げた者に贈られる2001年度「早稲田文化賞」を授賞。



渡辺 崇

第3回 JCF 学生映画祭へ「魚の脳みそ」を出品。  
第3位を授賞し2002年の「JCF スカラシップ作品」として原孝プロデューサーのもとドキュメンタリー映画「ウチをせかさんといてーある不登校少女の記録」を制作。  
1年以上に及ぶ期間をかけて作品を完成させ、やまがた2003ドキュメンタリー映画フェスティバルにて上映された。



月川 翔

第5回 JCF 学生映画祭へ「パラノイア」を出品。グランプリを授賞し2004年の「JCF スカラシップ作品」として「函館港イルミナシオン映画祭」の第7回シナリオ大賞受賞作である「ノーパンツ・ガールズ」（作. 森田剛行氏）を映画化する。昨年11月に劇場公開され本年3月22日にDVD化された。他にも「呼吸」「エクリプス」「僕は存在していた」などを制作。東京芸術大学の大学院に進学し北野武監督等に師事。2010年フランスのルイ・ヴィトンの短編映画賞「ルイ・ヴィトン・ジャーニーズ・アワード」でグランプリ受賞



齋藤 弘明

第10回 JCF 学生映画祭映画部門へ「HOLD UP」を出品。  
グランプリを授賞し2011年の「JCF スカラシップ作品」として、鳥取 J2 チーム ガイナーレ鳥取の選手を起用し、ガイナレソーラーのCMを制作。



井上 有希

第10回 JCF 学生映画祭アニメ部門へ「街を背負う男」を出品。  
グランプリを授賞し2011年の「JCF スカラシップ作品」として、鳥取砂丘をモチーフにした「さきゅうくん」を主人公とした鳥取県の公式観光CMを制作。  
2012年1月～3月放送、関西エリアのサンテレビ番組「MissCam. TV」のオープニング映像を制作。

## <第14回 JCF 学生映画祭 開催概要>

- 名称 ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭
- URL <http://www.jcf.jp.com/>
- 開催目的 日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。
- 開催日 2016年11月25日(金)、26日(土)
- 開催場所 11月25日 京都西陣IT路地(京都府京都市)  
11月26日 心斎橋SUNHAL L(大阪府大阪市)
- 主催 JCF 学生映画祭実行委員会
- 特別顧問 西澤 昭男(ワオ・コーポレーション株式会社代表取締役)
- 顧問 溝畑 宏(公益財団法人大阪観光局理事長)
- 実行委員長 高 秀蘭(映画プロデューサー)
- 実行委員 大和田 廣樹(映画プロデューサー、株式会社ブロードバンドタワー取締役副社長)
- 実行委員 磯久 五郎(5L エンタテインメント株式会社代表取締役)
- 実行委員 太田 雅人(ゲッティグループ代表、JCF 学生映画祭ファウンダー)
- 制作運営 JCF 学生映画祭運営事務局
- 特別協賛 株式会社ワオ・コーポレーション
- スポンサーパートナー 株式会社エルムスユナイテッド動物病院グループ
- 後援 公益財団法人大阪観光局、ABC ライツビジネス、CAMPUSNAVI.COM
- 協力 NEWWAVE、ドリームキッド、GX Overseas Limited.
- 行事内容
  - ◎国内コンペティションプログラム
    - 長編 学生映画アワード部門(入賞5作品を京都会場で11月25日に上映)
    - <WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD>
    - 短編 学生ショートムービーアワード部門(入賞作品11作品を大阪会場で11月26日に上映)
  - ◎表彰式プログラム
  - ◎特別プログラム
    - 日中韓国際学生映画上映会(日本長編部門 GP 作品と中韓の学生映画監督の作品)
  - ◎シネマフォーラムプログラム
  - ◎レセプションパーティ(26日表彰式終了後)
  - 入場料 無料(入退場自由)

## <「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の1億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」(現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。)の10周年特別協賛企画として、1999年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の949団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟(Japan Club・Circle Federation)が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第1回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第1回から第3回までを夕張市で開催、第4回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第5回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初! 畳の上で映画祭」を開催、2010年にLVMH(ル

イヴィトン) 映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君(当時成蹊大学在学)を輩出しました。第6回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALLで開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第7回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007年、2008年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをする思いで、夕張国際学生映画祭2007(第8回)・2008(第9回)を夕張で開催致しました。財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタステック映画祭」も、地元NPO法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の2年間の活動の成果も残すことができました。2011年には、鳥取県米子市にて第10回記念を開催。映画部門の他、アニメ部門、鳥取観光CMアイデア部門や開催地の米子市でのアニメ・映画イベントをつなぐ、【米子クリエイティブブリッジフォーラム】や10回記念開催として歴代入賞監督で映画の第一線で活躍するを招いたフォーラムの実施致しました。2012年(第11回)も鳥取県米子市で映画部門、アニメ部門を開催し、特別企画として、米子市助成の【ヨナゴコレクション】ファッションショーを開催致しました。2013年(第12回)は、鳥取県米子市でクリエイティブイベントの【ヨナゴワンダー】に最終日として開催致しました。地域特性に合わせて映画部門、アニメ部門に加えてマンガ部門を新設開催致しました。2014年(第13回)は東北・山形で、震災復興に少しでも貢献することを目指して開催し、2016年(第14回)は、JCF学生映画祭として初めて、関西・大阪で開催いたしました。第15回は、2018年2月に、JCF学生映画祭誕生の地である夕張市での開催を予定しております。

■本件に関するお問い合わせ先

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-30-2

第14回 JCF 学生映画祭運営事務局

担当・今城)

Mail : info@jcf.jpn.com

以上